

2015
消 防 年 報



南魚沼市消防本部

はじめに

南魚沼市消防本部は昭和 44 年に前身である六日町・塩沢町消防事務組合として発足し、46 年が経過しました。この間、構成市町をはじめ関係各位の多大なるご支援とご協力を賜り、地域社会に密着した防災機関として、着実な発展と充実を遂げてまいりました。

近年では、社会情勢の大きな変化とともに、災害の大規模化や住民のニーズが多様化し消防行政を取り巻く環境は大きく変化しており、地域における消防の役割はますますその重要性を増してきております。

当消防本部はこのような変化に的確に対応し、管内住民の皆様の安全と安心の確保を実現するため、警察、市町や消防団をはじめ関係機関との連携を深め、総合的な災害対応のための体制を確立し、装備の充実と併せてより専門的かつ高度な教育訓練を実施しております。

今後も職員一丸となり、管内住民の信頼と期待に応えるべく、消防防災という使命の達成に向けて邁進する所存であります。

この年報は、南魚沼市と湯沢町における平成 27 年中の主要な消防活動と消防現勢に基づき収録したものであり、災害や消防活動の現状について広く紹介することで、より一層のご理解とご協力を賜りたく編纂したものであります。幅広くご活用いただければ幸いに存じます。

平成 28 年 2 月

南魚沼市消防本部

消防長 勝 又 榮 一

目 次

管 内 概 況

管内一目統計	1
南魚沼市消防本部の概要	2
管内図	3
消防のあゆみ	4

庶 務 関 係

1 消防本部機構	1 0
2 消防庁舎の現況	1 1
3 過去 5 か年の消防費決算状況	1 2
4 職員階級別配置状況	1 3
5 職員階級別年齢状況	1 4
6 職員勤続年数状況	1 4
7 職員の特殊技能・その他の資格取得状況（その 1）	1 5
職員の特殊技能・その他の資格取得状況（その 2）	1 6
8 職員研修受講状況	1 7

警 防 関 係

1 火災出動状況	1 8
2 救助出動状況	1 8
3 災害出動状況	1 8
4 現有車両一覧	1 9
5 消防資機材一覧（その 1）	2 0
消防資機材一覧（その 2）	2 1
消防資機材一覧（その 3）	2 2
平成 21 年度 総務省無償貸付「消防団救助資機材」一覧	2 3
平成 24 年度 総務省無償貸付「消防団拠点資機材」一覧	2 4
平成 25 年度 総務省無償貸付「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」一覧	2 5
6 公設水利の現況	2 6
7 耐震性貯水槽（防火水槽）設置状況	2 6
8 消防施設の現況	2 7
9 消防ポンプ自動車等現有状況（消防団）	2 7
1 0 緊急消防援助隊	2 8
1 1 消防相互応援協定等の締結状況	2 9
1 2 消防相互応援協定に基づく活動状況	3 0

予 防 関 係

【火災統計】

1	市町別火災発生状況	3 1
2	火災種別発生件数	3 2
3	曜日別火災発生件数	3 2
4	月別火災発生件数	3 2
5	原因別火災発生件数	3 3
6	時間帯別発生件数	3 3
7	過去 10 か年の原因別火災発生件数	3 4
8	火災発生件数の推移	3 5
	平成 2 7 年度防火標語・防火ポスター最優秀作品	3 5

【予防統計】

9	市町別防火対象物数・防火対象物立入検査実施状況	3 6
1 0	業態別中高層防火対象物数	3 7
1 1	消防用設備等検査状況	3 8
1 2	建築同意状況	3 9
	(1) 用途別、市町別建築同意件数	3 9
	(2) 建築同意件数の推移	3 9
1 3	市町別中高層防火対象物数	4 0
1 4	南魚沼地域防火協会、参加団体数、会員数の推移	4 0
1 5	危険物施設数	4 1
1 6	危険物施設の許可・検査実施状況	4 1
1 7	危険物製造所等の申請、届出事務処理状況	4 2

救 急 関 係

1	救急業務の出動状況と内容	4 3
2	署別救急出動状況	4 4
	(1) 事故種別出動件数及び搬送人員数	4 4
	(2) 月別出動件数及び搬送人員数	4 5
3	月別事故種別救急活動件数	4 6
4	主な事故種別、傷病程度別（搬送人員）	4 6
5	急病の男女別年齢別搬送人数	4 7
6	市民等が実施した救命手当ての状況	4 7
7	救急隊が実施した除細動及び救急救命士の特定行為	4 8
8	ドクターヘリの要請件数、活動件数及び搬送人数	4 8
9	地域別搬送先状況	4 9
1 0	応急手当普及啓発活動状況	4 9

1 1	救急資機材（その1）	5 0
	救急資機材（その2）	5 1
	救急資機材（その3）新型インフルエンザ等対応資機材	5 1

通 信 指 令 ・ 気 象 関 係

1	通信網図	5 2
2	無線局及び消防車両車載無線機配置状況	5 3
3	災害種別受信件数	5 4
4	高機能指令センター	5 5
5	気象観測装置	5 6
6	気象予報発令件数	5 7
7	過去3か年の月別降水量	5 8
8	過去3か年の月別平均気温	5 8
9	過去3か年の月別積雪深	5 9

消 防 団 関 係

1	南魚沼市消防団組織図	6 0
2	消防団の主な業務	6 1
	南魚沼市消防団協力事業所表示制度認定数	6 1
3	消防団員の編成状況	6 2
4	年代別、階級別編成状況	6 3
5	退職・新任団員数	6 4
6	南魚沼市消防団員報酬・報償額	6 4
7	消防団の主な受章歴	6 5
8	消防団歴代消防団長	6 6

管 内 一 目 統 計

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	941.55 km ²	67,108 人	71.6 人/km ²	23,405 世帯
	南魚沼市 584.55 km ² 湯沢町 357.29 km ²	南魚沼市 58,907 人 湯沢町 8,201 人	南魚沼市 101.3 人/km ² 湯沢町 23.0 人/km ²	南魚沼市 19,802 世帯 湯沢町 3,603 世帯

予算・機構・人事	消防予算	消防本部・署・職員		消防団員数
	◇予算額 715,927 千円 住民一人当たり 10,618 円	◇機 構 消防本部 1 本部 消 防 署 2 署 分 署 1 分署	◇職員数 条例定数 105 人 実 員 105 人	◇南魚沼市消防団 条例定数 2,355 人 実 員 2,331 人 (内、女性団員 32 人)

機械・施設	消防車両等 (車両台数 27 台)		デジタル無線局	水 利
	ポンプ車 2 台 タンク車 2 台 水槽車 1 台 化学車 1 台 はしご車 2 台 救助工作車 1 台	指揮車 2 台 救急車 5 台 資機材搬送車 3 台 非常用救急車 1 台 広報連絡車等 2 台 その他の車両 5 台	◇デジタル無線局数 基地局 3 か所 車載陸上移動局 22 台 携帯陸上移動局 23 台 南魚沼市消防団 149 台 湯沢町消防団 44 台	◇消火栓 南魚沼市 2,516 基 湯沢町 400 基 ◇防火水槽 南魚沼市 503 基 湯沢町 74 基

火災・救急	火 災	主な出火原因	救 急	主な事故種別
	◇火災件数 29 件 13 日に 1 件 の割合で発生 ◇損害額計 115,159 千円	① 6 件 漏電・ショート ② 4 件 火入れ・たき火 ③ 2 件 ストーブ	◇出動件数 3,505 件 ◇搬送人員 3,316 人 1 日当たり 9.6 件 の割合で出動	① 急病 1,861 件 ② 一般負傷 704 件 ③ 転院搬送 541 件

予 防	防火対象物	危険物施設	防火対象物定期点検報告制度
	消防用設備等設置対象物数 4,013 防火管理者選任対象物数 1,405	貯蔵所 743 取扱所 232	定期点検防火対象物数 190 特例認定対象物数 72

南魚沼市消防本部の概要

南魚沼市消防本部は、新潟県南部の魚沼盆地に位置する南魚沼市及び湯沢町の一市一町を管轄し、湯沢町からは消防団事務を除く消防業務の委託を受けている。

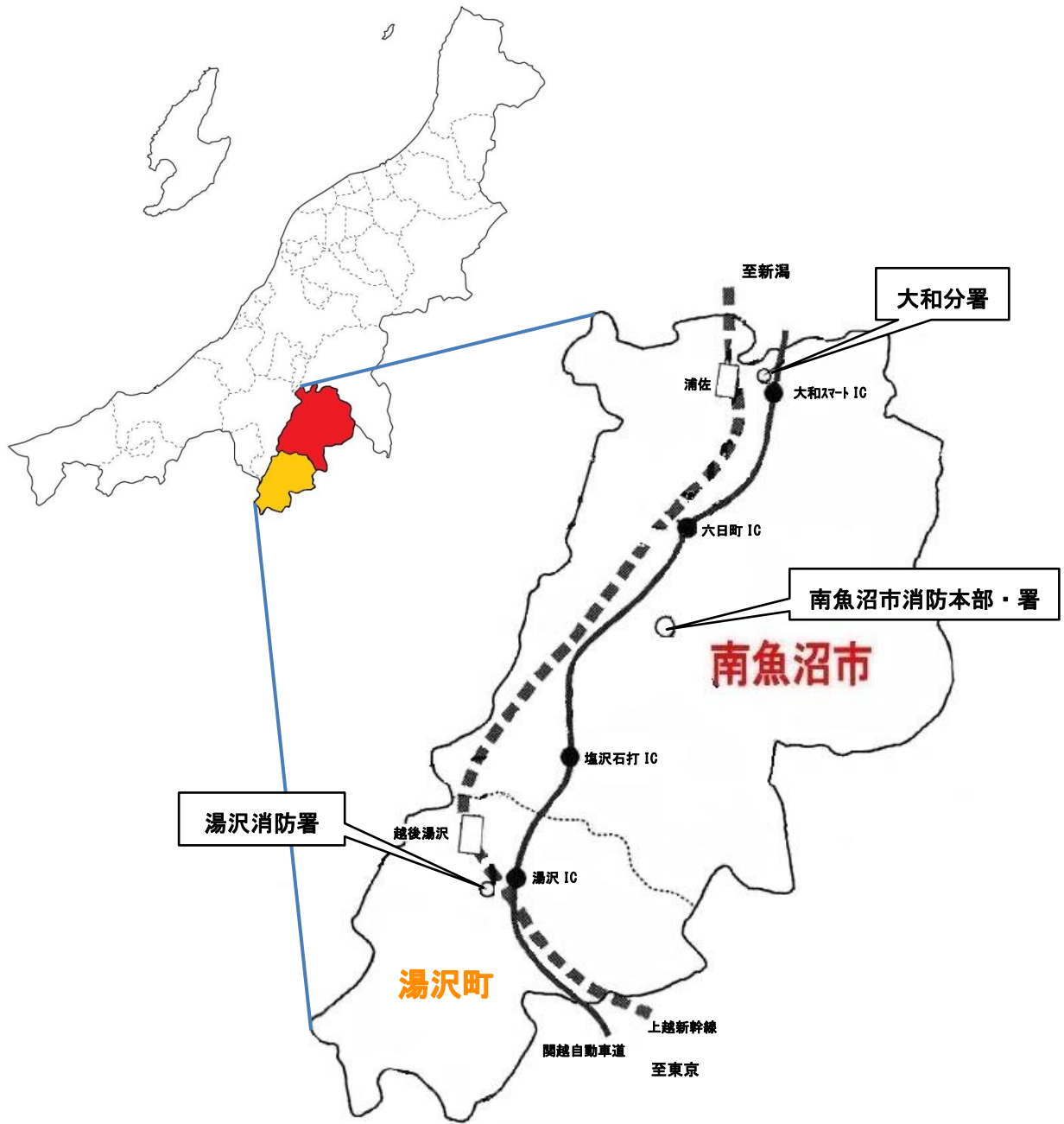
当地域は、十日町市、津南町及び魚沼市に隣接しているほか群馬県、長野県との県境を有しており自然豊かな地である。また、高速交通網の整備により、関越自動車道や上越新幹線などの交通の大動脈が南北に縦断しており、関東圏からのアクセスは利便性が高く、交通および物流の中継地としての役割を果たしている。こうしたアクセスの利便性向上に伴い、スキー観光地として観光産業基盤の充実が進むとともに、通勤・通学圏は新潟市近郊に加え関東圏にまで拡大し、企業の進出だけでなく、国際大学、北里大学保健衛生専門学院などが立地されている。

また、南魚沼市は、地域ブランドとして全国的に高い評価を受けている南魚沼産コシヒカリを中心とした農業の振興、新たな起業への支援と優良企業の誘致をさらに進め、若者が定住し安心して働けるまちづくりを行っている。このほか、四季折々の彩り豊かな自然景観と自然環境に恵まれた山紫水明の地でのスキーなどのスポーツ、屋外レクリエーション、グリーンツーリズム、温泉など資源を生かした多彩な交流の拡大により、市の一層の発展・飛躍に力を注いでいる。

現在の南魚沼市の市域は、明治22年4月の町村制施行により生まれた40村が、「明治の大合併」を経て明治39年には12町村に集約された。「昭和の大合併」といわれた時代、昭和31年から32年にかけての合併で、旧大和町（昭和37年4月に村から町制施行）、旧六日町、旧塩沢町の形となった。

そして「平成の大合併」の時代を迎え、南魚沼地域でも平成12年から合併についての取り組みが始まった。平成16年11月1日旧六日町と旧大和町の合併による市制施行で「南魚沼市」が誕生し、平成17年10月1日には南魚沼市が旧塩沢町を編入合併する形で新生「南魚沼市」となり現在に至っている。

管内図



消防のあゆみ

昭和 44 年	4 月 1 日	六日町・塩沢町消防事務組合発足（職員4名）
	8 月 7 日	塩沢町立舞子小学校火災
	8 月 12 日	水害六日町対策本部設置
	12 月	消防庁舎完成（第1期）
昭和 45 年	1 月 1 日	消防署発足・業務開始（職員署長以下25名）
	3 月	A級救急車導入
	8 月	B級救急車寄贈される
	12 月	水槽付消防ポンプ自動車導入
昭和 46 年	7 月 26 日	県立六日町高校火災
	10 月 1 日	中部消防応援協定締結
	11 月 3 日	六日町市街地火災（2棟死者1名）
昭和 47 年	4 月 1 日	湯沢町・大和町加入し組合名称を魚沼消防事務組合に改称
	10 月 1 日	湯沢町・大和町に分署庁舎完成 業務開始 （職員16名を採用・両分署に消防ポンプ自動車・救急車を配置）
昭和 48 年	7 月	消防審議会発足
	9 月 29 日	中部消防応援協定協議会救助訓練（六日町）
	10 月 30 日	スノーケル車（16m級）本署に配置
昭和 49 年	1 月	消防本部・署庁舎増築（第2期）
	2 月 18 日	ホテル火災（六日町地内）
	4 月 1 日	南魚沼郡休日救急外科在宅当番制開始
	10 月 20 日	新潟県総合防災訓練を六日町で開催
昭和 50 年	1 月 20 日	プロパンガス爆発事故（塩沢町大字関地内） （死者1名、負傷者3名、全壊1戸、損壊11戸）
	4 月 1 日	消防署 隔日勤務を2交代制から3交代制に移行
昭和 51 年	2 月 3 日	泡放射砲を購入し本署に配置
	6 月 1 日	消防の一部事務組合を解散し、南魚沼郡広域事務組合と合併
	9 月 30 日	本署配置の水槽車を化学車に改造
昭和 52 年	1 月 7 日	六日町豪雪対策本部設置
	7 月 15 日	トンネル火災 （上越新幹線湯沢北工区 負傷者40名全員救出）
昭和 53 年	2 月	ドア付消防ポンプ自動車本署に配置
	2 月	豪雪対策本部四町に設置
	4 月 1 日	第1次消防整備計画策定
	6 月 26 日	魚沼地方集中豪雨
	8 月 20 日	第29回新潟県消防大会を六日町で開催
	10 月	湯沢分署・大和分署庁舎増築
	10 月 5 日	プロパンガス爆発（大和町大字浦佐地内） （死者1名、負傷1名、全壊1戸、損壊11戸）

昭和 54 年	12 月 27 日	ホテル火災（湯沢町大字湯沢地内）
昭和 55 年	2 月 16 日	六日町豪雪対策本部設置
	3 月 17 日	湯沢町に無線サイレン吹鳴装置設置
	3 月 28 日	救急医療情報システム導入
	7 月 13 日	南魚沼郡防火協会設立
	11 月 27 日	消防100年記念消防団全国大会開催（東京）
昭和 56 年	1 月 6 日	56豪雪 豪雪対策本部四町に設置
	2 月 9 日	スキー場で雪崩（六日町大字坂戸地内 軽傷者1名）
	2 月	消防本部・署庁舎増築（第3期）
	6 月 21 日	広域消防10周年記念式典開催
	7 月 3 日	六日町消防団 坂戸スキー場の雪崩災害で県知事表彰
	8 月 23 日	集中豪雨により六日町の魚野川氾濫被害発生
	10 月 1 日	防火対象物表示公表制度の施行
	12 月 20 日	消防庁C型救急指令装置導入 及びテレホンガイドサービス開始
昭和 57 年	3 月 3 日	魚沼消防本部・六日町消防団 消防庁長官表彰旗を受章
	4 月 1 日	利根沼田広域市町村圏整備組合と、消防相互応援に関する協定締結
	12 月 4 日	休日診療所を六日町保健センターに移設
昭和 58 年	4 月 1 日	第2次消防整備計画策定
	12 月 11 日	工場火災（六日町大字泉地内）
昭和 59 年	2 月 8 日	59豪雪 豪雪対策本部四町へ設置
	2 月 29 日	雪崩災害 （湯沢町大字湯沢地内 湯元地区 民家直撃2名救出）
	4 月 1 日	第2次病院群輪番制、休日夜間救急診療開始
	4 月 11 日	救助隊編成
	6 月 12 日	救助訓練塔完成
	9 月 15 日	新潟県総合防災訓練を湯沢町で開催
	11 月 8 日	関越自動車道湯沢ICまで供用開始
	12 月 17 日	湯沢町消防団 消防庁長官特別表彰を受賞 （雪崩災害救助活動）
昭和 60 年	2 月 17 日	ホテル火災（湯沢町大字湯沢地内）
	9 月 26 日	第1回関越トンネル総合防災訓練開始
昭和 61 年	11 月 11 日	六日町少年婦人防火委員会設立
昭和 62 年	2 月 26 日	本署に大型救助工作車配置
	11 月 6 日	湯沢分署・大和分署に水槽付消防ポンプ自動車配置
昭和 63 年	3 月 30 日	JR上越線湯沢町土樽地内で展望列車「アルカディア号」火災発生
	4 月 1 日	第3次消防整備計画の策定
	12 月 4 日	ビル火災（湯沢町大字湯沢西中 死者2名）

平成 元年	4月 1日	消防緊急情報システムⅡ型導入及び順次指令装置、新テレホンガイド導入
	9月 1日	管内リゾートマンション特別査察
	～ 9月 7日	
平成 2年	1月 1日	新潟県広域消防相互応援協定締結
	3月 8日	塩沢町消防団 消防庁長官表彰旗を受賞
	3月 20日	指令室に地図検索装置及び自動気象観測装置を導入
	6月 6日	日本消防協会東北支部消防連絡会議開催（湯沢町）
	～ 20日	
6月 23日	広域消防20周年記念行事開催	
平成 4年	1月 10日	湯沢分署新庁舎移転、業務開始
	4月 3日	南魚沼幼少年婦人防火委員会設立
	9月 6日	六日町婦人防火クラブ結成
	12月 16日	湯沢分署はしご付消防自動車（35m級）を配置
平成 5年	3月 3日	湯沢町消防団、消防庁長官表彰旗を受賞
	4月 1日	第4次消防整備計画策定
	6月 8日	救急車に患者監視装置（プロパックモニター）を装備
	7月 19日	本署、防火広報車を導入
	11月	湯沢分署、救助訓練塔完成（主塔、副塔）
平成 6年	12月 1日	各団に小型動力ポンプ付軽積載車を貸与
	12月 15日	大和分署、新庁舎移転 業務開始
平成 7年	4月 1日	新潟県消防防災ヘリコプター運用開始
	9月 1日	塩沢町婦人防火クラブ結成
	9月 1日	大和分署、県消防防災ヘリコプター給油施設設置
	11月 29日	本署、消防車庫棟新築
平成 8年	4月 1日	南魚沼郡山岳遭難防止対策協議会へ加入
	5月 31日	放射能防護服、放射能測定器配備
	12月 7日	長野県蒲原沢土石流災害現場へ応援出動（第1次隊）
	～ 9日	
	12月 12日	同上（第5次隊）
～ 14日		
12月 20日	本署、はしご付消防自動車（24m級）を配置	
平成 9年	9月 11日	湯沢分署、救急車新規購入し2台体制となる
平成 10年	3月 7日	自治体消防50周年記念式典（日本武道館）
	4月 1日	第5次消防整備計画策定
	4月 1日	六日町病院に「心電図伝送受信装置」を設置
	10月 28日	携帯電話から119番通報運用開始

平成 11 年	1 月 20 日	本署、小型ポンプ付水槽車を新規配置
平成 12 年	2 月 4 日	湯沢分署、高規格救急車を新規配置
	4 月 1 日	関越トンネル内救急業務を道路公団より引き継ぐ
平成 13 年	1 月 1 日	本署、非常用自家発電設備を設置
	1 月 4 日	中越地区地震
	2 月 12 日	スキー場で雪崩災害（大和町大字五箇地内 軽傷者1名）
	3 月 19 日	南魚沼郡広域事務組合を解散し、南魚沼郡広域連合を設立
	4 月 1 日	指令室指令台「消防緊急通信施設（Ⅱ型）」に更新及び新発信地表示システムを導入
	8 月	六日町欠ノ上地内に消防防災ヘリコプター緊急離着陸場を設置
	12 月 25 日	塩沢町消防無線サイレン新設
平成 14 年	4 月 1 日	南魚沼メディカルコントロール協議会設立
	11 月 25 日	大和町婦人防火クラブ結成
平成 15 年	4 月 1 日	第6次消防整備計画策定
	8 月 24 日	第54回新潟県消防大会を湯沢町で開催
平成 16 年	4 月 27 日	全国消防長会東北支部総会（湯沢町）
	7 月 13 日	新潟・福島豪雨（7.13水害）13～15日災害応援
	10 月 23 日	新潟県中越地震 25～31日災害応援
	11 月 1 日	六日町、大和町合併し南魚沼市となる
	11 月 1 日	南魚沼郡広域連合を南魚沼地域広域連合に名称変更する
平成 17 年	4 月 1 日	緊急消防援助隊登録（消火隊・救助隊・救急隊各1隊）
	10 月 1 日	南魚沼市と塩沢町が合併する
	10 月 25 日	携帯119受信装置整備運用開始
	11 月 30 日	湯沢分署、自家発電設備を設置
平成 18 年	1 月 6 日	平成18年豪雪 市町に豪雪災害救助法適用
	2 月 28 日	本署、指揮隊車を配置
	3 月 17 日	大和分署、自家発電設備を設置
	3 月 31 日	南魚沼地域広域連合を解散する
	4 月 1 日	南魚沼市消防本部となる。湯沢分署を湯沢消防署に格上げ
	4 月 1 日	南魚沼市六日町消防団、南魚沼市大和消防団、南魚沼市塩沢消防団と改名する
	11 月 28 日	大和分署、高規格救急車へ更新
平成 19 年	4 月 1 日	六日町消防団、大和消防団、塩沢消防団を合併し南魚沼市消防団1団体制となる
	7 月 16 日	新潟県中越沖地震 16～26日災害応援
	9 月 6 日	北越急行との合同訓練 参加人員75名
	～ 7 日	
	10 月 2 日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練 参加人員200名

平成 19 年	10 月 14 日	南魚沼市消防団秋季連合演習 (六日町小学校：人員1,192名)
平成 20 年	3 月 7 日	自治体消防60周年記念式典（日本武道館）において、南魚沼市消防団（塩沢方面隊）日本消防協会長特別表彰「まとい」受賞
	7 月 27 日	集中豪雨（ゲリラ豪雨）発生により、城内地区、東地区内河川において河川土砂災害発生
	8 月 29 日	第37回全国消防救助技術大会（北九州市）初出場 (引揚チーム5名)
	10 月 16 日	関越自動車道大和スマートインターチェンジ供用開始
	10 月 23 日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練（参加者240名）
	11 月 28 日	社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車寄贈により本署、高規格救急車2台体制となる
	12 月 22 日	湯沢署、指揮隊車を配置
平成 21 年	2 月 17 日	第64回トキメキ新潟国体のスキー競技が南魚沼市（石打地区）及び湯沢町で開催
	～ 20 日	
	4 月 9 日	新潟県消防長会春季総会（開催地：南魚沼市消防本部）
	～ 10 日	
	5 月 16 日	新型インフルエンザ（A/H1N1）患者が国内で発生、管内では6月23日に発生し流行拡大
	7 月 23 日	フジロックフェスティバル（苗場）期間中救急隊1隊を現地（湯沢町浅貝）に常駐
	～ 27 日	
	8 月 20 日	第38回全国消防救助技術大会（横浜市）に出場（ロープブリッジ救出チーム4名、ロープブリッジ渡過）し、2種目とも入賞
	9 月 28 日	患者等搬送事業乗務員定期講習
	10 月 16 日	中部消防応援協定協議会を南魚沼市で開催
	10 月 23 日	中越大震災5周年記念追悼式（長岡市）
	11 月 12 日	救急隊員のうち46名に新型インフルエンザワクチン接種
	～ 12 月 4 日	
平成 22 年	2 月 10 日	南魚沼市消防団が日本消防協会長から表彰旗を受賞
	6 月 27 日	消防本部新庁舎の建設工事が始まる
	8 月 27 日	第39回全国消防救助技術大会（京都市）に引揚救助チームが出場し、入賞する。（全国大会へは3年連続出場）
	9 月 1 日	新潟県防災訓練が魚沼市で開催、当本部より救助隊1隊が訓練参加
	9 月 3 日	北越急行との合同訓練 参加人員21名
	11 月 13 日	南魚沼市・湯沢町危機管理フォーラム2010開催
平成 23 年	1 月 31 日	平成23年豪雪 市に豪雪災害救助法適用
	3 月 11 日	東日本大震災発生
	3 月 12 日	長野県北部地震発生
	3 月 14 日	緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ出動（延べ派遣人員276名）
	～ 5 月 10 日	

平成 23 年	7 月 27 日	新潟・福島豪雨災害発生 消防団員延べ約4,400名出動 ～ 29 日
	9 月 1 日	消防本部新庁舎供用開始
	11 月 9 日	緊急消防援助隊の活動について総務大臣表彰を受賞
平成 24 年	1 月 30 日	湯沢町に豪雪対策本部設置
	1 月 31 日	南魚沼市に豪雪対策本部設置
	2 月 3 日	南魚沼市全域に災害救助法適用
	2 月 20 日	南魚沼市消防団が防災功労者消防庁長官表彰を受賞
	5 月 24 日	国道253号八箇峠トンネル内爆発事故発生 新潟県広域消防相互応援協定により県下14消防本部から48隊 233名の応援を受ける。
	10 月 30 日	新潟県ドクターヘリコプター運航開始
平成 25 年	2 月 22 日	南魚沼市に豪雪対策本部設置 六日町地域、大和地域に災害救助法適用
	2 月 24 日	塩沢地域に新潟県災害救助条例適用
	4 月 1 日	初の女性消防吏員採用
	4 月 1 日	南魚沼市消防団再編により大和方面隊が新体制となる (5分団45部から4分団19部へ)
	5 月 16 日	消防本部訓練塔工事着工
	9 月 2 日	南魚沼市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
平成 26 年	3 月 31 日	消防本部訓練塔竣工
	4 月 1 日	南魚沼市消防団再編により六日町方面隊(4分団53部から26部) 塩沢方面隊(4分団50部から27部へ)が新体制となり再編完了
	4 月 1 日	南魚沼市消防団に女性部設立
	5 月 19 日	消防救急デジタル化事業本体工事の仮契約を締結し、2か年の整備 事業開始
	10 月 13 日	南魚沼市消防団女性部の発足式開催
	11 月 28 日	大峰山基地局の土木工事完了
平成 27 年	6 月 1 日	新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院開院
	7 月 15 日	南魚沼市消防団女性部総務大臣感謝状拝受
	8 月 29 日	第44回全国消防救助技術大会(神戸市)において引揚救助チームが 入賞
	9 月 18 日	無線基地局設備が完成し試験運用開始
	11 月 1 日	南魚沼市民病院開院